

製品名: リン酸化 Src (Tyr419) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00684

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 60 kDa; Observed MW: 60 kDa

抗原情報

遺伝子名	SRC
別名	SRC; SRC1; Proto-oncogene tyrosine-protein kinase Src; Proto-oncogene c-Src; pp60c-src; p60-Src
遺伝子 ID	6714
SwissProt ID	P12931
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

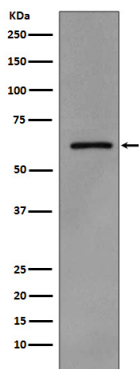
背景

Srcの活性は2つの部位におけるチロシンリン酸化によって制御されますが、その効果は相反します。キナーゼドメインの活性化ループにおける Tyr416 のリン酸化は酵素活性を上昇させますが、Cskによるカルボキシ末端における Tyr527 のリン酸化は酵素活性を低下させます (2)。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



過バナデート処理した A431 溶解物中の Phospho-Src (Y419) を Phospho-Src (Tyr419) 抗体を使用してウエスタン ブロット分析しました。